

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

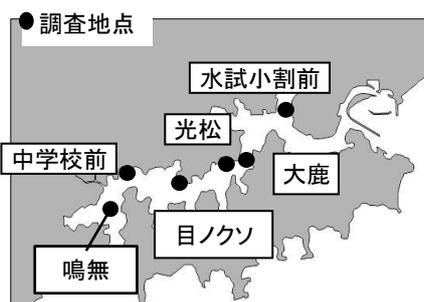
検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で980 cells/mL、シャットネラ属が最高で48 cells/mL、ケラチウム属が最高で62 cells/mL、ディクチオカ属が最高で6,000 cells/mL確認されました。

養殖漁場のある湾中央部でシャットネラ属やディクチオカ属等が赤潮を形成しており、漁業被害が想定される細胞密度を超えていましたので、十分注意してください。海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/mL)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	ケラチウム属	ディクチオカ属
鳴無	1m	1	3	30	120
	5m	0	0	0	39
中学校前	1m	0	4	2	9
	2m	1	9	25	6,000
	5m	0	4	11	209
目ノクソ	2m	4	19	27	2,200
	5m	15	6	7	1,800
光松	2.5m	980	4	17	3,600
	5m	460	48	27	1,600
大鹿	2.5m	124	11	62	1,550
	5m	7	13	15	490
水試 小割前	2m	5	0	3	1
	5m	116	0	39	290



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ: 数百～数千cells/mL (魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/mL (魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/mL～ (餌食いの悪化)
- ・ディクチオカ属: 数千～cells/mL (魚類等のへい死のおそれ有り)